

HOTEL KAN KAW

ホテル ガンゴウ



「ホテル ガンゴウ」は、ミャンマーの最大都市ヤンゴンにあり、ミャンマー初、日系のホテルです。

日本語・英語・ミャンマー語に対応しております。

74室の客室は近代的な設備を備えており、2階の日本食レストラン「鎌倉」では、朝食の和食ビュッフェ、夕食には多彩なメニューの日本料理をお召し上がり頂けます。



アクセス

- 空港まで車で20分
- ティラワ経済特別区、ミンガランド工業団地まで車で30分
- ボージョーマーケットまで車で20分
- シェダゴンバゴダまで車で15分

■ホームページ・ご予約 <http://www.hotelkankaw.com.mm/>

HOTEL KAN KAW
No(93)A, Hnin Si Kone Street, Ahlone Township, Yangon, Myanmar
Phone: 09 31042562, 01 228566 Fax: 01 225208
E-mail: hotelkankaw@gmail.com
Managed by Shimokawa Myanmar Company Limited

日本連絡先:下川ビルディング株
東京都大田区大森北2-3-15-9F Tel.03-3761-4123

L下川 浩 東京大森ライオンズクラブ



「東京スカイツリー」

2012年2月竣工。自立式鉄塔として高さ世界一。全高634mという数字は、東京近辺の旧国名である武藏国を考慮したとも言われている。伝統的日本建築に見られる制振システムを最新の技術で再現。

表紙の3Dパズル版はわずか41個のピースで完成だが、本物は、約4万tもの鉄骨を使い、モジュール化された部品を現場で溶接し、複雑なレース編みのような外観を作り上げている。我らがJCIも、長い活動の中で、時として部品が足りなくなったり、溶接がはがれることもあるかもしれないが、個々のメンバー、個々のLCをうまくつなぎ合わせて優美な外観を維持してゆきたいものである。(L荒牧知子)



6月までの主な行事予定

- 4月18日: 第61回年次大会
- 4月19日: ツリークライミング(野川公園)
- 4月20日: キャビネット事務局休
- 4月27日: 指導力育成セミナー
- 5月16日: 東北復興支援イベント(盛岡市産業文化センター)
- 5月21日: 公認ガイディングライオン研修会
- 6月1日: 次期三役セミナー(東京プリンスホテル)
- 6月8日: 第4回キャビネット会議(東京プリンスホテル)
- 6月26~30日: ハワイ国際大会



編集後記

3月も終盤を迎えているのに各クラブ、各委員会はもちろん、キャビネットも活発にアクティビティを行っているので広報委員会としては、西に東に連日取材に奔走しております。うれしい悲鳴ですが、どうしても委員会だけの取材には限界があるので、もう少し積極的なご投稿をいただき「みんなで創る地区ニュース」になることが望ましいと思われます。

この度、地区ニュースに対するアンケートを行い、結果を20~21ページに掲載いたしました。読者側が知りたかったことや広報委員会として参考になることがあります、大変有意義だったと感じております。

今期は、あと1号を残すだけとなりました。委員会一同、楽しく見応えのある内容にしようと張り切っています。乞うご期待!

広報委員会 委員長 L向井 忠義



今期広報委員会メンバーのご紹介

L向井忠義 委員長 三鷹LC	L押元正樹 三鷹LC	L桃沢 秀 副委員長 愛宕山LC	L遠藤 登 日野LC
L赤尾嘉晃 副委員長 豊新LC	L矢追秀紀 ウエストLC	L木下知紀 副委員長 世谷ガLC	L荒牧知子 東京LC
L上杉秀樹 副委員長 豊新LC	L柴田 誠 SPA	L若松範彦 新宿LC	L後藤裕文 担当副幹事 法政LC
L津守勝男 大森LC			

ライオンズ国際協会 330-A地区 ポケットニュース VOL.5 発行人:広報委員会委員長 L向井 忠義

発行:2015年4月 20150406 Copyright 2014-15 330-A Lions Clubs International All Rights Reserved.

E-mail:cab@lions330-a.org URL:www.lions330-a.org

Lions Clubs International 330-A POCKET NEWS

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
ポケットニュース VOL.5

April
2015

震災から4年、
忘れない、心の支援へ

特 集

3.11 東日本大震災追悼復興支援コンサート

山田實紘国際第一副会長と語る会

330-A地区 地区ニュースへのアンケート結果



介護付有料老人ホーム・在宅福祉

シルバービレッジハ王子
ゆったりと安心の毎日を



JR中央線 八王子駅よりバス5分
中央自動車道 八王子 ICより10分

お問い合わせ・パンフレットのご請求は

0120-19-0432
<http://www.silvervillage.co.jp/>

シルバービレッジ日野東館



シルバービレッジ日野



シルバービレッジハ王子西



株式会社シルバービレッジ

(一般型特定施設入居者生活介護)

042-691-8325(代) 東京都八王子市宮下町500

石井 征二 東京八王子陵東ライオンズクラブ
TOKYO HACHIOJI RYOTO LIONS CLUB

広告

ジョー・ブレストン国際会長テーマ

Ask one 一人が一人を誘おう！

ACスローガン

**Strengthen the Pride
誇りを高めよう！**

34年ぶり、我々日本ライオンズクラブの悲願であり夢であった、世界135万人の頂点に日本から国際会長の誕生です。

我々日本ライオンズは、会員を増強し、日本の底力を世界にアピールして、ハワイで日の丸を高々と掲げましょう。

会員増強による「数の力」でWe serveを拡大し、社会から喜ばれ感動される誇りある奉仕活動に励みましょう。

GMT第五会則地域副リーダー

東洋東南アジア地区(日本担当)

元国際理事 山浦 昊暉(東京新宿LC所属)

3.11 心も新たに We Serve

2011年3月11日。330-A地区では、奇しくもこの日こそ東京芸術劇場で河合悦子ガバナーの下、「チャリティコンサート」を行う予定であった。開演前、14時46分大地震が発生、交通機関がストップ、劇場の破損もあり来場者、出演者の安全を優先して中止を決めた。その時集められた入場料の一部は、東日本大震災の支援金として現地団体に届けられた。

あれから4年、再び同じ場所で、東日本大震災追悼復興支援チャリティコンサートを開催。観て、聴いて、歌って一緒に笑った。日々の生活に感謝して、私たちライオンズクラブは引き続き支援の手を緩めず、被災された方々を支えていこうと心を新たにした集いであった。

2015年3月11日(水)東京芸術劇場
第1部 ライオンズクラブ国際協会330-A地区 式典
第2部 東日本大震災追悼復興支援コンサート
1. 陸上自衛隊第1音楽隊 2. ステラ・オーケストラ 3. 杜けあき 4. 郷ひろみ

東日本大震災復興支援
環境・震災・災害支援

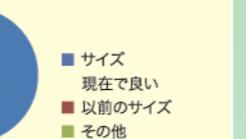
7 今後取り上げて欲しいテーマや話題をお聞かせください。

ある 8 / ない 22

コメント LCIF、クラブ50周年、クラブ自慢、選挙制度・キャビネットポスト再考、330-A地区から東京へ、日本への発信性が弱い、身近な話題・活動掲載、新宿ライオン像紹介。

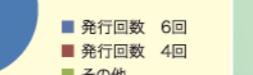
8 サイズ、発行回数、配布方法、内容などご意見、ご感想をお願いします。

サイズ	現サイズ	31
	元のサイズ	11

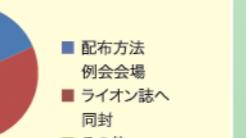


発行回数	現6回	39
	(冊子版3回、ペラ版3回)	

4回	4
-----------	----------



配布方法	例会場へ	8
	ライオン誌へ	34
	その他 (事務局、幹事へ)	

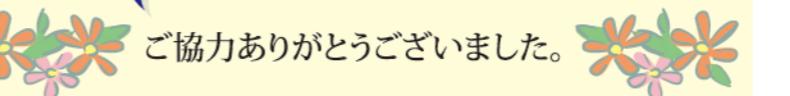


コメント メール便からゆうメールへ変更でコストダウン可

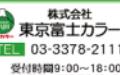
(主なコメント抜粋)

次回掲載予定楽しみにしている／単位クラブでもニュースを有効利用しないといけない／身近なLCを知ることができる／飲食店の割引券を添付、不用品のリスト公開しアクティビティのつながりができれば良い／写真が小さくわかりづらい／ライオンズの宣伝をもっとするべき／会員以外にわかり易く、LCの必要性活動内容を盛り込んで欲しい／全体によくできている／例会場への直送の場合、欠席者に渡らずライオン誌同封として欲しい／地区ニュースを地域のお店、病院、薬局等においてLCの宣伝をしてはどうか／地域の問題点の探し方→問題点把握、活動内容議論、決定→実施活動を解決した具体例などのプロセスの掲載が重要と考えている。

地区ニュースについてのご意見・ご感想をお聞かせください。



証明写真機設置のご案内

株式会社
東京富士カラー

TEL 03-3378-2111

受付時間 9:00~18:00

(土曜日・日曜日を除く)

履歴書用
パスポート用
免許証用

不景気でも、高需要の証明写真

準備金ゼロ
メンテナンス不要
省スペース

東京本社
〒164-0012 東京都中野区本町2-29-12
TEL 03-3378-2111 FAX 03-3378-2112

大阪支社
〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-17-5 スチューディオ大阪
TEL 06-6325-5621 FAX 06-6325-8801

<http://www.tokyofujicolor.co.jp/>



ベストを尽くそう

今期、塩月藤太郎ガバナーが、「1万人の会員増強」と「東日本大震災追悼復興支援コンサート」を提案し、メンバーの協力を呼びかけた。当初は、「達成や実行は難しい」という意見が大勢を占めていたように見受けられた。しかし、各担当者の並々ならぬ努力と全メンバーの協力でコンサートは大成功、会員増強においても着々と成果を上げ目標に近づきつつある。

まさに、「ベストを尽くせば良い結果が姿を現す」見本ではないだろうか。我々ライオンズは、これまで「多くの難題」を自らに課し、それを成し遂げてきた。見方を変えれば、援助を必要とする方々は「待てない状況におかれている」可能性がある。「○○だから出来ない」とか「××だから難しい」ではなく、「どうすれば援助の手を差しのべられるのか」、「何をすれば可能か」を自ら考え、決まれば全員が一段となって「ベストを尽くす」、それが「We Serve」であり、ライオンズのなすべきことではあるまい。

「3.11」、我々は「なせば成る」を実現し、さらなる奉仕活動への意欲とチームワークの素晴らしさを体験した。今期は残り少ないが、手を緩めることはなく、ベストを尽くそう。我々の援助が必要な方々のためにも共に力を合わせて…

青少年育成(薬物乱用など)

薬物乱用防止教室

12/12

(金)

4R2Z東京江東南LC

薬物乱用防止教室

12月12日(金)宮城県石巻市では初めてとなる薬物乱用防止教室を、石巻市立湊中学校で開催。2学年生徒52名、教職員・PTA30名の約90名が参加。講師陣は、東京江東南LC・L徳田、L平松、家族会員・尾車部屋力士「錦風」、宮城石巻中央LC・L阿部の4名。冒頭のスピーチは、錦風による「プロスポーツ選手の立場からの薬物乱用防止」。参加者の皆さんは終始熱心に、講師の話に耳を傾けていた。



12/21

(日)

9R東京五反田・ウエスト・荏原・品川LC共催

第20回品川区少年マラソン大会



12月21日(日)大井埠頭中央海浜公園・陸上競技場にて風のない晴天の中、品川区を始め、地域の団体、小・中学校等にご協力をいただき、少年マラソン大会を開催した。9Rの4クラブ共催による大会も、早いもので20回を数え、参加選手も1,000名を超える盛況であった。一生懸命走る子ども達の姿には、次の時代を担う逞しさが感じられた。

2/2

(月)

12R2Z東京町田LC
町田3クラブ合同「青少年育成事業」と「薬物乱用防止キャンペーン」の発表となる基調講演

2月2日(月)ホテル ザ・エルシィで、東京町田LC、東京町田クレインLC、東京町田中央LCの町田市内にある3クラブ合同基調講演会が開催され、55名が参加した。

町田警察署長からの講演は「さらなる 安全で安心な 街づくり」をテーマに、同市の現状を踏まえ、「青少年育成事業」の方向性と「薬物乱用防止キャンペーン」継続の重要性をメンバーや家族、そして友人へわかり易く話して頂いた。町田警察署の生活安全課と質疑応答の時間もあり、参加者はテーマに関心を持ち意義ある講演会となった。

2/7

(土)

12R2Z東京稲城多摩LC
「危険ドラッグ撲滅・薬物乱用防止教室」開催

東京稲城多摩LCではクラブ初めの薬物乱用防止教室を稲城市内の向陽台小学校で2月7日(土)に開催した。

朝9時から特別活動

教室を使用し、6年生46名、校長ら学校関係者が参加。薬物乱用防止センターのDVDとパワーポ

イントを活用、約1時間のプログラムを実施した。子どもたちは熱心に視聴し、関心が高く質問もたくさん出た。アンケートには、テレビでは危険と伝えているが、身体に対する影響や誘われた時の対処方法が具体的でよくわかったので「絶対にやらない!」との感想が多く見られた。



2/8
(日)

第28回少年少女レスリング選手権大会



2月8日(日)、東京新宿LC主催の第28回少年少女レスリング選手権大会が、新宿コズミックセンターに於いて開催された。

当日の参加者は、選手350名、コーチ及び保護者、ライオンズクラブメンバー等、約1,000名が参加し、盛大な大会になった。

試合は体重別で行われ、児童から小学4年生までは男女混合、5~6年生は男女別で、選手は日頃の練習の成果を発揮していた。



2/19
(木)

小学生の為の「薬物乱用防止教室」

2月19日(木)東京町田LCと相模原シティLC合同開催で、町田市立町田第四小学校体育館に於いて小学生の為の「薬物乱用防止教室」(小学6年生、参加者約100名)を行った。危険ドラッグなどの薬物の危険がわかるDVDを鑑賞後、講師から実例を交えて、薬物は「ダメ ゼッタイ」という認識を参加者全員に確認した。この教室をきっかけに小学生本人だけでなく、家庭でも家族と話しをすることで、薬物乱用に「ストップ」へつながっていく事を切に期待する。



2/22
(日)

東京マラソン 応援アクティビティ

「柳橋LCから東京マラソンランナーへ、毎年恒例スプレー応援!」。

東京柳橋LCは、東京マラソン参加ランナーに筋肉疲労回復のスプレーを毎年提供し、東京マラソンを応援している。雷門の折り返し地点から少し南の浅草駒形橋西橋詰は、ゴールまで残り約10キロ地点。疲労がピークに達している時、脚に優しいスプレーはいつも好評である。LCメンバーからの元気の出るサービスに、ランナーの「ありがとう!」と「笑顔」が返されたアクティビティであった。



3/1
(日)

第50回善行少年少女表彰式



5R2Z東京江戸川LC

東京江戸川LC主催の第50回善行少年少女表彰式が、3月1日(日)江戸川区東部フレンドホールに於いて開催された。区内各方面から推薦された、環境美化・防犯・防火等で善行を行った少年少女146名が表彰され、記念の楯を贈られた。塩月ガバナーからは、表彰を受けた子ども達を賞賛するとともに、主催の東京江戸川LCへ50年の長きにわたる善行表彰式の労いと式典継続希望のメッセージが贈られた。

3/9・10

(月・火) 薬物乱用防止教室

東京蔵前LCは、3月9日(月)台東区立田原小学校で、10日(火)同区蔵前小学校で約70名の6年生に「薬物乱用防止教室」を行った。

薬物乱用防止委員会のL寺田義和(東京鶯谷LC)が、パワーポイントで分かりやすく説明をした後、「大人はいつも子ども達の成長を見守っている。君達には可能性に満ち溢れた未来が待っているから。」と話があり、違法薬物には絶対に手を出さないようにと結んだ。

3/9~16

(月~木) 繼続アクティビティ「薬物乱用防止教室」

東京玉川LCは、玉川警察署と連携して3月9日(月)から16日(月)にかけて世田谷区内中学校で薬物乱用防止講習会を開催した。芸能人の覚せい剤使用や危険ドラッグによる悲惨な交通事故のニュース等が頻繁に報じられている昨今、テレビやインターネットからの情報などで偏った知識を抱きがちな青少年に対し、他人事としてではなく自身の身近な問題として「断り方」などわかり易く講習を行った。

10R2Z東京玉川LC



6R1Z東京蔵前LC



3/15

(日) 人の集まる所に「アクティビティ」有り

3月15日(日)東京中野LCは、地域の他の関連団体と協力して中野四季の森で「中野ランニングフェスタ2015」を行った。ランニング部門は、2キロと4キロ、10キロと能力に応じて参加できるよう工夫されていた。会場には、警察や消防、飲食物を売るブースなどが各種並んでいた。



ライオンズクラブも「ダメ。ゼッタイ。」のブースを設けると共にランニングコースに「ダメ。ゼッタイ。」のぼりを並べ4,000人のランナーと1万人近い参加者にアピールした。人の集まる所に「アクティビティ有り」である。

環境・震災・災害支援

東日本大震災復興支援



3/8

(日) 防災フェア&チャリティイベント

東京新都心LCは、東日本大震災の後、今回で三回目の“防災フェア & チャリティイベント”を実施した。イベントには地元新宿区内の小学校や子ども園、児童館などの子ども達、ラジオ体操の会が参加して、それ



ぞれ日ごろの練習の成果などパフォーマンスを披露した。また、チャリティバザーや物産展では地区内の多くのクラブが出展応援でイベントを盛り上げた。被災地から駆けつけた釜石市消防団 第一分団第四部部長 会澤裕行氏は「日ごろの防災意識の重要さを再認識した」と語り“防災フェア & チャリティイベント”を締めくくった。

11R2Z東京中野LC

社会福祉

12/15

1R2Z東京番町LC

(月) サンタさんと尺八の音色をプレゼント

12月15日、代々木にある私設保育園「こぐま園」の子ども達にメンバー扮するサンタクロースがクリスマスプレゼントを手渡した。また、L吉岡会長の尺八演奏に合わせて、子ども達、保護者、スタッフの皆でクリスマスソングを合唱、笑顔溢れるクリスマス会となった。「こぐま園」は、心臓疾患を抱え一般の保育園に入園できない子ども達のために、その保護者が私財を投じて運営している保育園。本アクティビティは、約30年間にわたり、懸命に生きる小さな命とその保護者への支援を行っている。



1/17

(土)

障害者支援チャリティバザー



1R2Z東京玉川LC

1月17日、九品仏浄真寺参道で毎年恒例の障害者支援チャリティバザーを行った。穏やかな晴天の下、地区の餅つき大会に合わせた企画で会場は大いに賑わいを見せた。福祉作業所の手作りクッキーや新鮮野菜、雑貨などの販売を通じて事業資金を獲得したばかりでなく、クラブ会員の絆も深まった有意義なアクティビティであった。

2/15

(日)

第10回 想い出の成人式

7R1Z東京荒川LC

サンパール荒川5階末広の間に於いて、新成人6名の想い出の成人式が行われた。幼少から成人までの写真がスクリーンで紹介された後、両親に花束を贈呈した。一人のお母さんが我が子が身障者だからこそ教えてくれたことや感動したことがあったと言われたことが心に残った。参加は、保護者14名、荒川区5名、荒川区社会福祉協議会6名、他関連団体27名、ライオンズ関係28名。



生命(献血・献腎・献眼)関連

献血のご協力をお願いします!

2/14

(土)

8R1Z東京目白LC

バレンタインデー献血



2月14日(土)のバレンタインデーに東京目白LCは、日本赤十字社の駒込事業所より献血車を呼んで、豊島区、學習院大學応援團のご協力をいただき、池袋駅東口ロータリーにて献血奉仕活動を実施した。高野之夫豊島区長からの挨拶と、応援團の演目もあり、天候にも恵まれて、活気に満ちた奉仕デーとなった。

採血者数は、目標の70名を大幅に超えて90名となった。



山田国際第一副会長基調講演



熱心に耳を傾ける参加者



質問をする聴講者



参加者と気さくに握手



インタビュー風景

2月28日(土)15時から開催された、「山田實紘国際第一副会長と語る会」は池袋の東京総合美容専門学校内マルチホールに設けられ、330複合のメンバー350人で埋め尽くされた。

二部構成第一部は、山田国際第一副会長の基調講演で骨子は、1. 会員増強の必要性、2. 国際会長への志、3. ライオンズクラブ国際協会の100周年に向けての準備と目標などであった。自らは、第99代国際会長エレクトであるからこれまで行ってきたアクティビティやライオンズクラブの仕組みを再考し、次の200周年に向けて「成長と変化」への準備を行うのが使命であると述べた。

そして、「今や日本のライオンズクラブは、決まったことを迅速にきちんと行うので世界のライオンズの見本と成っていて大いに注目されていること、さらに、福岡の国際大会で日本は、約4千名の代議員の参加によって日本の意見が尊重され、徐々にではあるがライオンズクラブ国際協会は、日本色を増していくことになろう」と続けた。

第二部は、会員増強について山田国際第一副会長とA、B、C地区の代表が一人ずつ壇上に上がり、それぞれの取り組みや現状報告などが行われた。主な内容は、1. 会員増強は、奉仕活動の仲間を増やすことでとても大事なこと、2. ライオンズはなんといっても「クラブ第一である」からもっとクラブ独自のアクティビティを行うべきであり、それが活性化につながること、3. 世界的に見ても日本は女性会員が極端に少ないので女性会員の比率を50%になるよう鋭意努力してほしい。それには、家族会員の増員が望ましいこと、の3つだった。会場からも質問があり、山田国際第一副会長が真摯に回答をしていた姿が印象的だった。

330-A地区 広報委員会 単独インタビュー

1. ライオンズ入会時に国際会長になろうと思われましたか？

父親が他界し、代わりに入会した。(そんなことは)考えていないかった。「誰でもなれる」それだけにライオンズは、開かれていると思う。

2. 自クラブで何を学ばれ、どんなことが糧とになりましたか？

リーダーシップと正しく物事を決めていくプロセスの大切さ。

3. 国際会長への道のりで印象に残ったことはどんなことですか？

日本のライオンズクラブの団結力と実行力が素晴らしいと思った。

4. 国際会長(自分自身)への期待と提案

日本のクラブを世界のライオンズクラブの見本にしたい。

5. 世界のライオンズの新ビジョンは何でしょうか？

これまでの仕組みやアクティビティを再考し、多様性を受け入れ、次の100年へ向け「成長と変化」をすること。

インタビューを終え感じたことは、実際に気さくで、簡潔、活き活きされていて親しみやすい人柄だった。健康に気を付けられ、日本のため、世界のために活躍されることを祈りたい。

1/11
(日)

防災チャレンジ大運動会



1月11日(日)新宿コズミックセンターにて『防災チャレンジ大運動会』を開催、土のう積上げ競争、担架作り競争など、楽しく遊びながら親子で「防災意識」を高めてもらうためのプログラムを実施した。消防署や日本赤十字社の専門家による指導や、テレビで人気の天気予報士 天達武史さんのゲスト出演もあり、子ども達もイキイキとした表情で参加していた。

1/19
(月)

臨時第1回キャビネット会議

1月19日(月)東京プリンスホテル鳳凰の間で臨時第1回キャビネット会議が開催された。キャビネット役員約350名の出席があり、ガバナー提出案件の協議(一般事項、第61回年次大会関係および各委員会からの提出案件)等が行われた。また後半の新春賀詞交歓会にはクラブ会長幹事も加わり2015年の幕開けを祝した。



1/28
(水)

新入会員セミナー

1月28日(水)キャビネット事務局会議室で、東京尾張町LCが中心となり新入会員セミナーが開催された。L小川晶子(会員増強委員会委員長)が国際本部の全体像からクラブのあり方までパワーポイントを使い、分かりやすく説明した。また、オリエンテーション用の資料も配布され、入会者がクラブライフを楽しみ、自身の進む方向性を確認できる内容だった。全体のプログラム構成など内容の充実した新入会員セミナーであった。
《問合せ先・資料請求》



2/2
(月)

第61回年次大会第1回運営全体会議



2月2日(月)16時～18時、ハロー会議室西新宿の3Fにて第61回年次大会第1回運営全体会議が開催された。大会運営組織表、タイムスケジュール、各部会業務分担要項、大会チラシなどを参考に各部会に分かれ、役割、時間の経過にそって部会内の業務の流れなどを確認した。

2/3 (火) 第2回青年アカデミー異業種交流会

2月3日(火)東京品川プリンスホテルで第2回青年アカデミー異業種交流会が開催された。330-A地区塩月藤太郎ガバナーの開会の挨拶後、青年アカデミー委員会委員長L橋本隆夫の開催の趣旨説明がなされた。全体が円形で真ん中に舞台がある会場は約8名ずつの23テーブルからなっていて、各グループからディスカッションの内容を発表するプログラムだった。また、ビジネスタイムが設けられ一般参加した方の会社のPRコーナーもあり、情報交流の場となり盛会のうちに開会となった。



2/7 (土) CEPファシリテーター養成セミナー

2月7日(土)13時～17時半 ハロー会議室八重洲でCEPファシリテーター養成講座が開催され330-Aを中心に全国から約90名の参加者があった。養成講座は3部構成で、第1・3部はGLT東洋・東南アジア地域VICEリーダーL後藤隆一が講師を務め、第1部ではプログラムの概要と目的の説明があり、小グループ討議等を実践した。第2部は、L進藤義夫委員長が進行役となりグループディスカッションと発表中心に「優れたクラブ」について議論を深め、ファシリテーターのスキルを磨いた。

第3部では調査とアンケート、目標と行動計画の講義があり、結びに330複合地区GLTコーディネーターL佐藤精一郎から講評があった。参加者は、養成講座で学んだスキルを各地区に持ち帰り、プログラム参加クラブを増やすため、今後の活躍を誓って終了した。



2/9 (月) 第2回クラブ会長会



2/27 (金) 第61回年次大会ガバナーズ・アワード

2月27日(金)14時～16時、AP西新宿にて、第61回年次大会ガバナーズ・アワード第一次審査会が開催された。「アクティビティ:15部門、運営:10部門」のアワードに各クラブより数多くの申請があり、担当のキャビネット委員会委員が公平かつ厳正に審査を行った。

各優秀賞の発表、表彰式は、4月18日(土)の年次大会で行われる予定で、塩月ガバナーから各クラブ会長へ手渡される。



今期2回目となる「クラブ会長会」が2月9日(月)AP西新宿で開会され、140名のクラブ会長が出席した。

今回は複数のクラブ会長から開催の依頼があり実現したものである。

「キャビネット運営(予算及び人事)」や「復興支援コンサート」そして「年次大会」など多岐に渡り活発な議論がされた。

**2/21
(土) 東京日野LC設立50周年記念式典**

東京日野LC設立50周年記念式典は、市立三沢中学校のコーラスで始まり、司会を実践女子大学の学生に任せるというユニークなオープニングであった。300名を超える出席者も地元で活動している個人、団体が多く、地元に根を下ろした「We Serve」を続けてきたことを伺い知ることができた。

アクティビティも市内の野球、サッカー、交通、消防各少年団など子ども関係が多く、薬物乱用防止講習会や岩手県陸前高田市への支援など幅広く活動していた。



**2/23
(月) チャーターナイト記念祝賀会**

2月23日(月)、雨天にもかかわらずヒルトン東京の「菊苑の間」は祝賀ムードいっぱいであった。

塩月ガバナーはじめライオンズ関係者や来賓諸氏が祝辞を述べた。全員が一致団結してハーモニー(調和)のあるクラブ運営をしてほしいと新クラブへの期待を込めて、エールを贈った。

L前田 信哉が初代会長。スタート時の会員数は38名、330-A地区に新風を巻き起こしてもらいたい。



**3/2
(月) 東京墨東LC40周年記念式典**

3月2日錦糸町の東武ホテルレバント東京に於いて約170名の出席者を迎えて、東京墨東LC40周年記念式典が開催された。

江戸情緒あふれる梯子乗りや、祭囃子、そして向島芸者衆による日本舞踊等が披露され友好クラブ、マニラ モラベLC、敦賀みなとLCのメンバーも江戸文化に酔いしれた式典となった。



**3/12
(木) 第2回薬物乱用防止教育認定講師講座**

3月12日(木)13時～16時 立川商工会議所に於いて、第2回薬物乱用防止教育認定講師講座が開かれ、新規取得講座、更新養成講座、ゴールド認定講師更新講座が開催され約50名の参加があった。薬物乱用防止委員長 L小堀光由より「ペーパー認定講師ではなく実際に地域に密着した奉仕活動をしてほしい」とスキルアップを目指しての受講心得の説明があった。講師の藤野 彰様(前国際連合麻薬防犯事務局長)、瀬戸 晴海様(厚生労働省 関東信越厚生局麻薬取締部 部長)より世界の薬物事犯の情報や麻薬取締の実態の講義があり、それぞれの地域で薬物乱用防止教室開催の意義と重要性を再確認した。



**3/16
(月) 第3回キャビネット会議**

3月16日(月)14:00～17:00、第3回キャビネット会議が、AP西新宿で開催された。キャビネット構成員104名中82名が出席した。様々な提出案件に対して、活発な意見交換が行われた。

また、3.11の東日本大震災復興支援追悼コンサートが大成功に終わったことが報告され、塩月ガバナーおよびL山口勝一委員長から協力に対してお礼の言葉が述べられた。



お知らせ

**中村泰久**

2016~2018国際理事立候補予定者

ライオンズクラブ国際協会が100年を迎えます。
未来に向け、老・壮・青の融合をはかりつつ、
新たなリーダーの発掘・育成!
ニーズに則した奉仕活動を支援してまいります!
【We Serve】のもと、メンバー皆様と共に
ライオンズクラブを発展させていきましょう!

■330-C地区3R2Z大宮北ライオンズクラブ所属 ■1963年1月4日生まれ

大草原と満天の星に輝くモンゴル国

ウランバートルのライオンズクラブと「友好クラブ」募集中!

330-A地区

国際協調・モンゴル友好委員会

《モンゴルの方々の特徴》

- ◆日本が大好き、日本人が大好きなモンゴル人
- ◆日本人のルーツの一つであるモンゴル人
- ◆素直な性格で温厚な人柄の人が多い



友好(姉妹)クラブを希望しているクラブ

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ●ウランバートル・セントラルLC | ●ウランバートル・ヘルレンLC |
| ●ウランバートル・ホフテンゲルLC | ●ウランバートル・ハンガイLC |
| ●ウランバートル・リーダーLC | ●ウランバートル・ビチクドLC |

《お問い合わせ》 LC国際協会330-A地区 キャビネット事務局

TEL.03-5330-3330 FAX.03-5330-3370

国際協調・モンゴル友好委員会 委員長 L田倉 仁

岩手県大船渡市・
さいとう製菓の「かもめの玉子」宮城県女川・
高政の「笹かまぼこ」

◎東日本復興援助品のご購入をお願いします◎

330-A地区では、東日本大震災被災地復興支援の一環として現地で生産を再開した「笹かまぼこ」と「かもめの玉子」のご購入をお願いしています。

クラブの記念行事やゴルフコンペの賞品、家庭用などに是非ご利用いただければと思います。詳細につきましては、東日本復興支援委員会のL田中圭子副委員長(090-3509-3855)までお問い合わせください。 ~東日本復興支援委員会~

JAPAN 2015
23rd WORLD SCOUT JAMBOREE SCOUT MONDIAL

元ガバナー L菅原雅雄

第23回世界スカウトジャンボリー

ボーイスカウト

ボーイスカウトは、1907年、イギリス人ベーデン・ポーエルによって創設、武士道と騎士道を根本理念とし、「有為にして善良なる市民の育成」を目的とした青少年育成の組織。世界216の国と地域でそれを支える2,800万人が参加、日本は、13万人が加盟している。

世界ジャンボリー

世界の青少年が、野外生活を通して国際親善、友好を深める教育イベント。1920年ロンドンで第1回が開催された。以後4年毎に開催されているが、2015年7月28日から8月8日、1971年以来国内第2回目が山口県きらら浜で開催され世界162の国と地域から3万人(日本=6千人)のスカウトが参加する。

また、8月2日のメインイベントには、皇室、総理大臣、王族、外国使節団、その他要人が参加。今回は、ライオンズクラブの国際会長にも招待状が送られ、初参加が期待されている。

ライオンズクラブの支援

1971年、日本初の開催にあたり、日本のライオンズクラブは、約1億円を募金、テントやプール建設などの支援を行った。今回は、336-D地区がメンバー1人当たり、3千円。A・B・C地区が2千円、他地区が1千円の支援をお願いしている。

健全な青少年育成支援のため、全クラブが、100%の協賛をしてくれるよう切望している。

広告

経理のことは、お気軽にご相談ください。

吉田会計事務所

税理士 吉田 實

東京文京ライオンズクラブ

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目27番8号 太陽館ビル

電話:03-3813-9502/03-3813-9521

FAX:03-3814-6141

330-A地区 地区ニュースへのアンケート結果

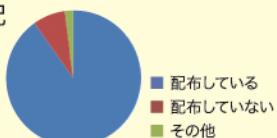
2015年2月13日配信、3月10日締切の日程で「2014～2015年度版地区ニュースについて」のアンケート調査を行いました。配信は、202クラブ、26委員会。回答56通。(回答率24.5%)

今期の地区ニュースは、ポケットサイズで携帯、郵送も便利とし、入会候補者へライオンズ活動をできるだけ多く紹介、会員増強に役立つ仕様としました。また「冊子版とペラ版」の2種に分けて年6回発行、ホットな出来事を迅速に届けています。アンケートは、記事内容と配布方法について具体的に調査を行いました。以下結果を掲載いたします。

1 地区ニュースは、例会時、委員会時に配布されていますか？

はい 50 / いいえ 5

コメント 例会で配布、欠席者には郵送している。



2 貴クラブの、委員会の活動が記事になったことがありますか？

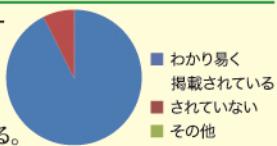
はい 22 / いいえ 34



3 ②で「はい」の方へ、アクティビティ、セミナーなどわかり易く掲載されていましたか？

はい 27 / いいえ 2

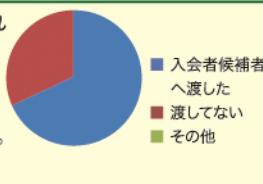
コメント ペラではスペース制限があり無理がある。



4 入会候補者へ、地区ニュースを渡されましたか？

はい 34 / いいえ 16

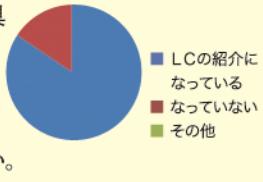
コメント 配布時期によって渡せない場合がある。
イベント参加のビジターに渡した。



5 地区ニュースは、ライオンズクラブの具体的な紹介になっていますか？

はい 38 / いいえ 7

コメント 情報量が少ない。
初心者には内容が難しい。／とても良い。



6 地区ニュースを、330-A地区的ホームページで見られることをご存知ですか？

はい 32 / いいえ 18

コメント 知ってはいるが見たことがない。

